予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長瀧本孝一議員、副委員長小林立栄議員）は、条例2件、予算5件、その他4件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全11議案が原案のとおり可決・承認されました。

原子力損害の本和解は妥当か

問 提示された和解金額の内容は。

答 平成25・26年度分の損害賠償金として、申立額は約3530万円。提示された和解額は810万円である。

問 和解せずに別途損害賠償請求する考えは。和解仲介申立しか方法はないのか。

答 原子力損害賠償紛争解決センター（原発ADR）は、賠償について迅速に解決に導くための機関であり、県・各市町村とも足並みを揃えて取り組んでいる。

裁判となれば、相応の時間と費用がかかる。和解で進めたい。

問 今後の申立予定は。

答 平成27年度分以降について、31年度の申立を検討している。

外国人材受入企業への支援制度を創設

問 補助金（50万円）の内容は。

答 ※外国人技能実習制度を採用する事業所に対し、新規受入1人当たり5万円を助成する。多様な就業形態の整備や多文化共生による職場の環境整備を支援し、市内事業所の経費負担軽減を図る。

今回は1月から3月の3か月で10人を想定し、補正予算措置するものである。

問 実習生が不安を抱いた時などの相談体制はできているか。

答 受入事業所には技能実習指導員・生活指導員の配置が義務づけられており、実習生の教育・相談をそれぞれが受け持つこととなっている。

国の法律に基づいた制度であり、各事業所において責任ある対応ができているものと認識している。

市内の企業で働く外国人技能実習生

※外国人技能実習制度
国際貢献の一環として、開発途上国等に日本国内で培われた技能・技術または知識の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする制度。
技能を有する外国人の在留資格制度を規定した「改正出入国管理法」とは趣旨が異なる。

わさび公社、規模の拡大で懸念は

わさび生産振興事業費の増額内容

一般社団法人遠野わさび公社では、当初畑わさびの苗を1万本生産する計画であった。しかし、市内外からの注文が予想以上に増加し、パイプハウス内に育苗用の棚等を設置することで、生産効率性を高める必要が生じた。

問 規模の拡大で経費も増えると思う。経営を圧迫しないか。

答 1名を増員するが、苗を6万本生産することで利益が180万円となる。経費は人件費込みで120万円と試算しているので、経営を圧迫するとは考えていない。

今後の共同防除のあり方は

問 今年の水稲の作柄と品質は。

答 作況指数は101で平年並みだが、地域によっては、平年を下回っている。品質については特に問題はない。

問 病害虫の被害はないか。

答 遠野普及サブセンターによると少ない。いもち病については、天候に恵まれたこともあるが、共同防除の効果が大きい。カメムシ防除に2回で

ついても、防除と畦畔の草刈りにより効果があった。

問 高齢化により共同防除の労働力の確保が難しくなってきている。無人ヘリやドローンの活用に補助は。

答 現在、組織化されているところに遠野地方病害虫防除推進協議会を通じて補助している。10アール当たりいもち防除に700円、カメムシ防除に2回で千円である。スマート農業を推進していくためにも、今後ドローンに対する補助も協議していく。

普及しつつあるドローンによる薬剤散布

外国人の誘客対策は

問 遠野市観光アクションプランが出来上がっていない。事業の検証ができないが、計画はいつ頃までに作るのか。

答 できれば年度末までに作りたい。3月に公表予定の第三セクターの改革計画に影響がでないように連携を図っていく。

問 外国人誘客にはホームページの充実が求められるが。

答 遠野市の魅力を多くの外国人に発信するため、遠野市観光協会のHPを多言語化して充実を図る。

問 遠野駅から市内観光施設への移動手段が手薄では。

答 レンタサイクルと観光タクシーが主な移動手段となっている。様々な問題を抱えていると思われる。今後検討を重ね移動手段の充実を図っていく。

期待されるサッカー場整備は

問 クラブハウス整備の内容は。

答 平成31年7月、視覚障がい者5人制サッカーブラジル代表の合宿を受け入れる。それに伴い国際競技連盟の要件を満たす施設整備が必要。1階にシャワー室、脱衣所、更衣室、ユニバーサルトイレ。2階には、会議室と屋外観覧スペースを備える。

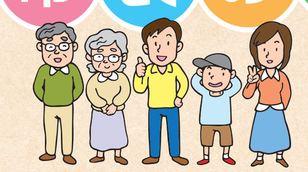
問 ユニバーサルデザイン対応か。

答 視覚障がいの方に対応するので、必要な箇所には点字表示も考えている。

問 車いすの方が2階を利用する際の配慮は。

答 エレベータの整備は難しい。ブラインドサッカーの体験会などで障がいに対する心のバリアフリーがすすんでいると考えている。みんなでサポートをすすめたい。

市民の声



このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）

まちづくりに皆さんがんばっている事が伝わってきます。たのしみにしています。
（穀町、69歳、女性）

いろんなところで議員が活躍していてご苦労様ですと伝えたいです。
（小友町、59歳、女性）

市政のキャッチフレーズに！ とおの市はみどりいっぱい、ゆめいっぱい！ 今少子高齢化で次世代のまちづくりに課題がい～っぱいデス。決意を持って、夢中で仕事のこととご察し、健やかに人が輝くとおののまちづくりを切に希望する。
（松崎町、79歳、男性）

議会だよりを読んだ感想を一言申し上げれば「わたしのひとこと」を掲載されており、今後とも若い人達の声を継続されることを希望します。
（松崎町、80歳、男性）

議会中継をいつも見ています。委員会は長時間になりますがダイジェスト版などがあればより見やすくなると思いますが。
（土淵町、60歳、女性）